

平成 28 年 12 月 15 日 (木)



今日は鹿児島市卸本町の、山形屋商事株式会社で「MBC ラジオポニー号」が「モーニングスマイル」の中継を行いました。

ポニーメイツの椿さん、赤塚さんが、山形屋商事株式会社の取締役総務部長の内之倉俊郎さんにお話を伺いました。

～ 中 継 内 容 ～

山形屋商事株式会社は鹿児島市卸本町にありまして、衣料品、雑貨、食料品の卸業を行っております。販売先は鹿児島県内はもとより、宮崎、熊本を中心に九州全域、遠くは広島までの百貨店、量販店、小売店、専門店で販売をいたしております。

山形屋と聞くと古里のデパート山形屋のイメージが強いかと思いますが、関連がありまして、当社は昭和 48 年に卸団地に、山形屋百貨店近くのいづろから引っ越してきました。もともとは山形屋百貨店の卸部でしたが、昭和 22 年に株式会社を設立し、今日に至っております。来年は設立 70 年を迎えます。地方卸問屋として、お客様から信頼される問屋を目指して社員一丸となり日々頑張っております。

従業員数はパートを含めて合計 106 名、車両台数もトラックを含めまして、31 台おります。

年末年始の交通事故防止運動への取り組みとしては、会社車両の運行前にアルコールチェックと運転免許証の携帯確認を行ってから守衛室で車両キーを受け取ります。そして運転記録表へ運転者氏名、出発時刻、行き先を記入し、次に車両に配布している車両点検簿の 11 項目にチェックを行って、出発という流れを取るようになっています。

他にも毎日の車両点検に加えまして、更に月 1 度会社車両の総点検も行っております。ワックスがけ、車内清掃、エンジンオイル、ラジエーター液の点検確

認を社長も含めて全従業員で取り組んでいます。

また、古里のデパートということで、環境にも気を遣い、山形屋グループとして、ISO14001、国際機関の国際認証取得をされていて、年に2回全従業員を集めて、ISO環境教育を行っています。その研修の中でCO2排出量の削減という環境目標がありますので、目標達成に向けて急発進、急加速、タイヤの空気圧・摩耗のチェック、アイドリングストップを推進しています。

他にも心の点検というか、朝、会ったときには、おはようございますと挨拶をお互いにしているんですが、挨拶をしたときにちょっとなんか臭いな、何か悩みがあるのかなというのをすぐに声とか表情で分かるので、そのときはかできるだけ声掛けをするようにしています。

ドライバーの心身の状態、心配事や悩み事があると運転に影響してきます。

私自身も以前営業をされていて感じたのですが、やはり営業マンは売り上げを持ってますので、達成率が悪いといろいろ考えてしまいます。車を運転して出発するときには今日はこのお客様にこういう商品をいくらで…といういろいろなことを考えます。運転中に考え事をしてると大変危険ですので、運転に集中してもらいたいのので、営業に関しては事前に整理をしてから運転していただきたいです。いくら車両点検をしても運転するのは一人の人間なのできちんとコミュニケーションを取って心の健康を状況をチェックし、運転に集中できるようにしたいです。

～内之倉さんからラジオをお聞きのみなさんにメッセージ～

私自身も、約30分かけて会社まで来ております。この頃、運転中の携帯電話、使用者がまだまだやはり見受けられますね。携帯電話使用中の事故も後を絶ちませんのでこれから年末に掛けて時間も気持ちも忙しい時期になりますので気持ちにゆとりを持って安全運転をお願いしたいものです。

